

# 環境経営レポート

作成日 2026年1月31日

〔期間 2024年11月～2025年10月〕

**進栄化成株式会社**

# 事業内容

作成日 2026年1月31日

進栄化成株式会社

[期間 2024年11月～2025年10月]

代表者名 代表取締役 進藤 浩  
所在地(本社工場)  
電話番号 03-3849-3600  
FAX番号 03-3889-5640  
環境管理責任者 進藤 浩  
E-mail [h-shindoh@shineikasei.co.jp](mailto:h-shindoh@shineikasei.co.jp)

所在地(埼玉工場) 〒334-0057 埼玉県春日部市南栄町13-13  
電話番号 048-763-0091  
FAX番号 048-763-1962  
副環境管理責任者 工場長 佐々木 貴幸

所在地(栃木工場) 〒329-0505 栃木県下野市細谷591  
電話番号 028-552-1031  
FAX番号 028-552-1032  
副環境管理責任者 工場長 阿久津 誠

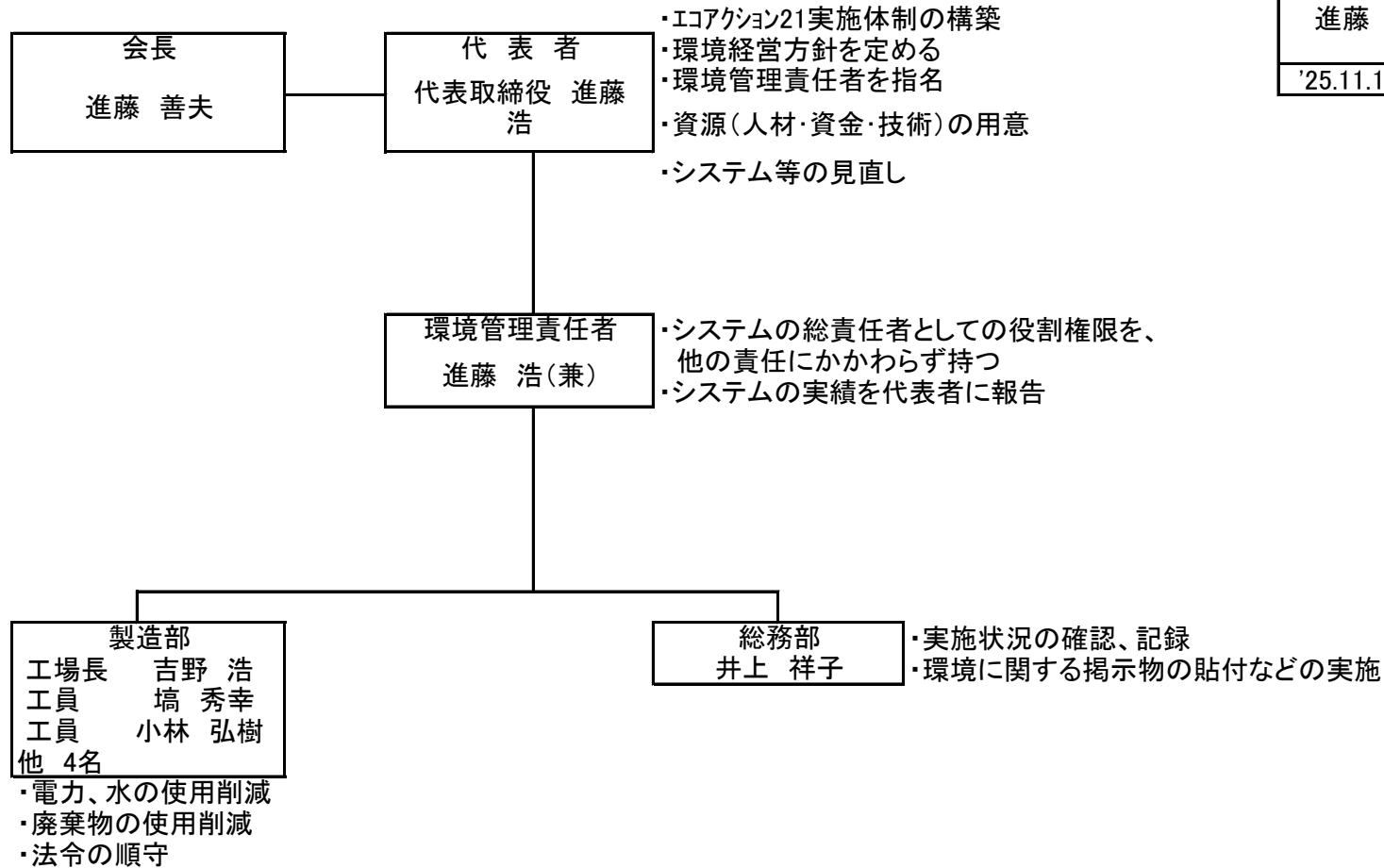
事業内容 プラスチックリサイクル原料製造・販売  
法人設立 1970年11月1日  
資本金 4,500万円  
従業員数 32名  
売上高 747百万円('25年度)

ア. 許可の内容 中間処理(本社工場) 許可番号:第13-20-235988  
イ. 施設などの状況 「事業所概要及び施設等の状況」の頁に記載しました  
ウ. 処理実績 「事業所概要及び施設等の状況」の頁に記載しました

認証・登録事業所の範囲

本社工場・埼玉工場・栃木工場

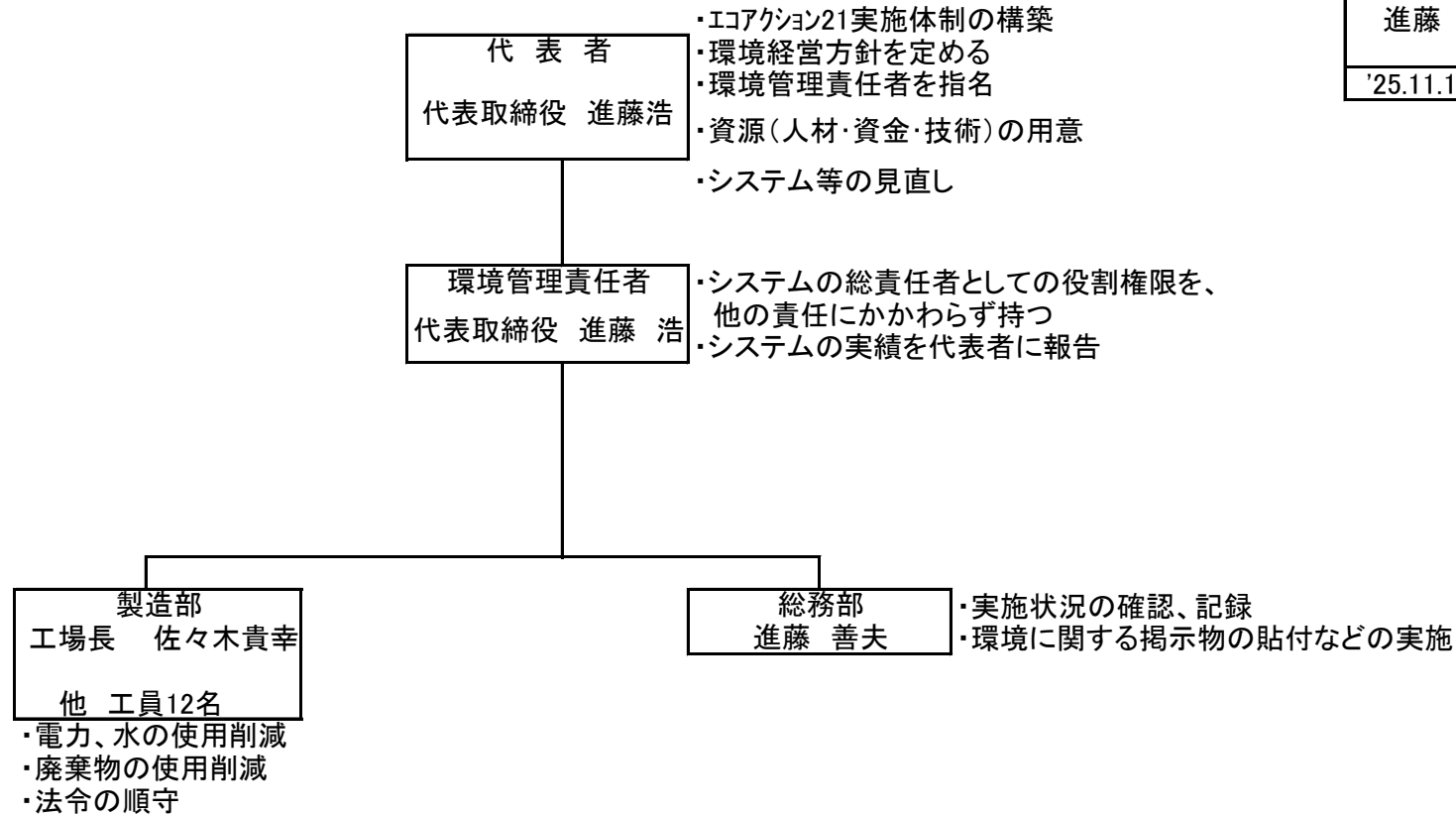
エコアクション21 実施体制 本社工場 (総員:9人)



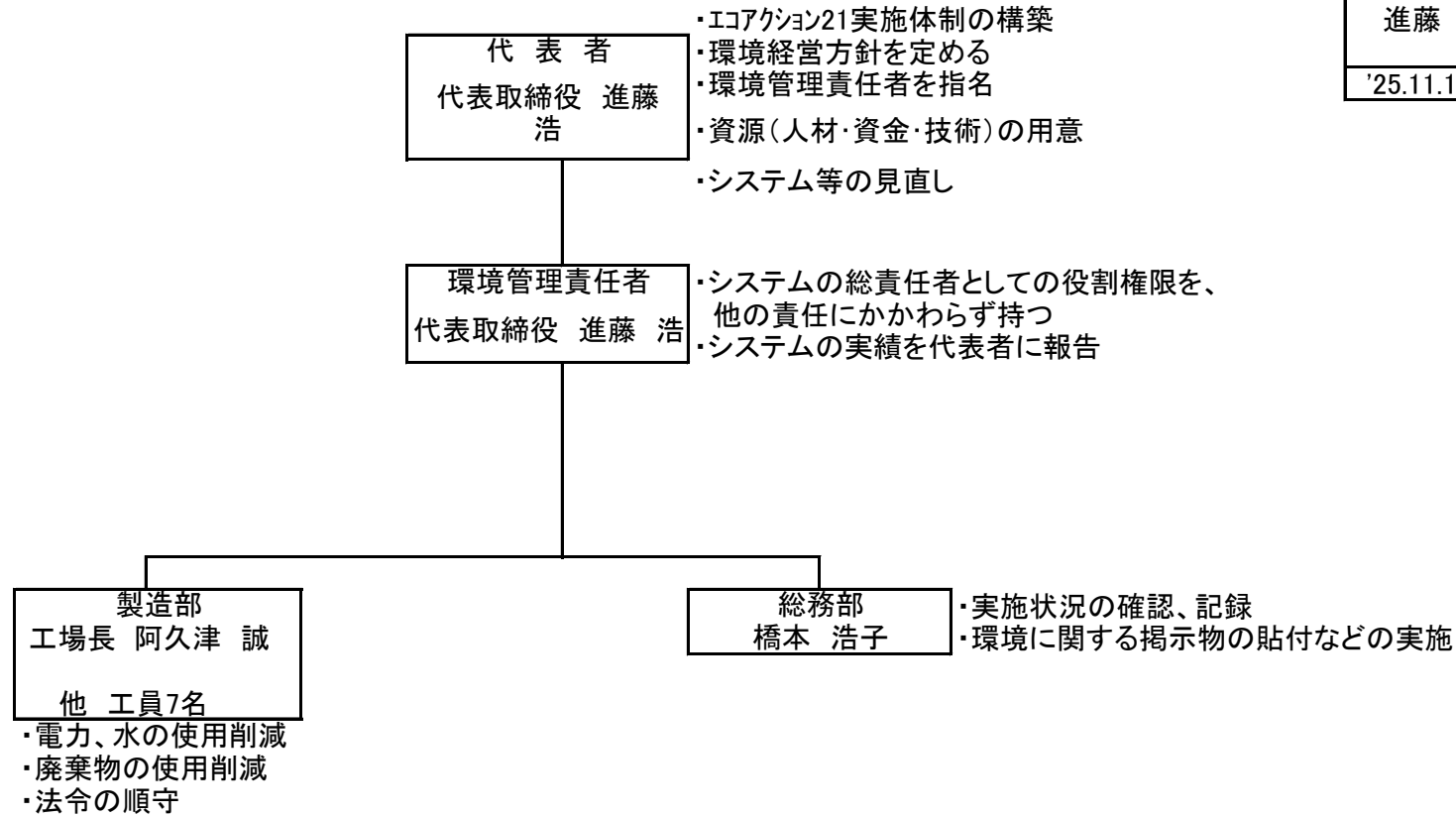
代表者 (承認)	環境管理 責任者 (作成)
進藤	進藤
'25.11.1	'25.11.1

## エコアクション21 実施体制 埼玉工場 (総員:14人)

代表者 (承認)	環境管理 責任者 (作成)
進藤	進藤
'25.11.1	'25.11.1

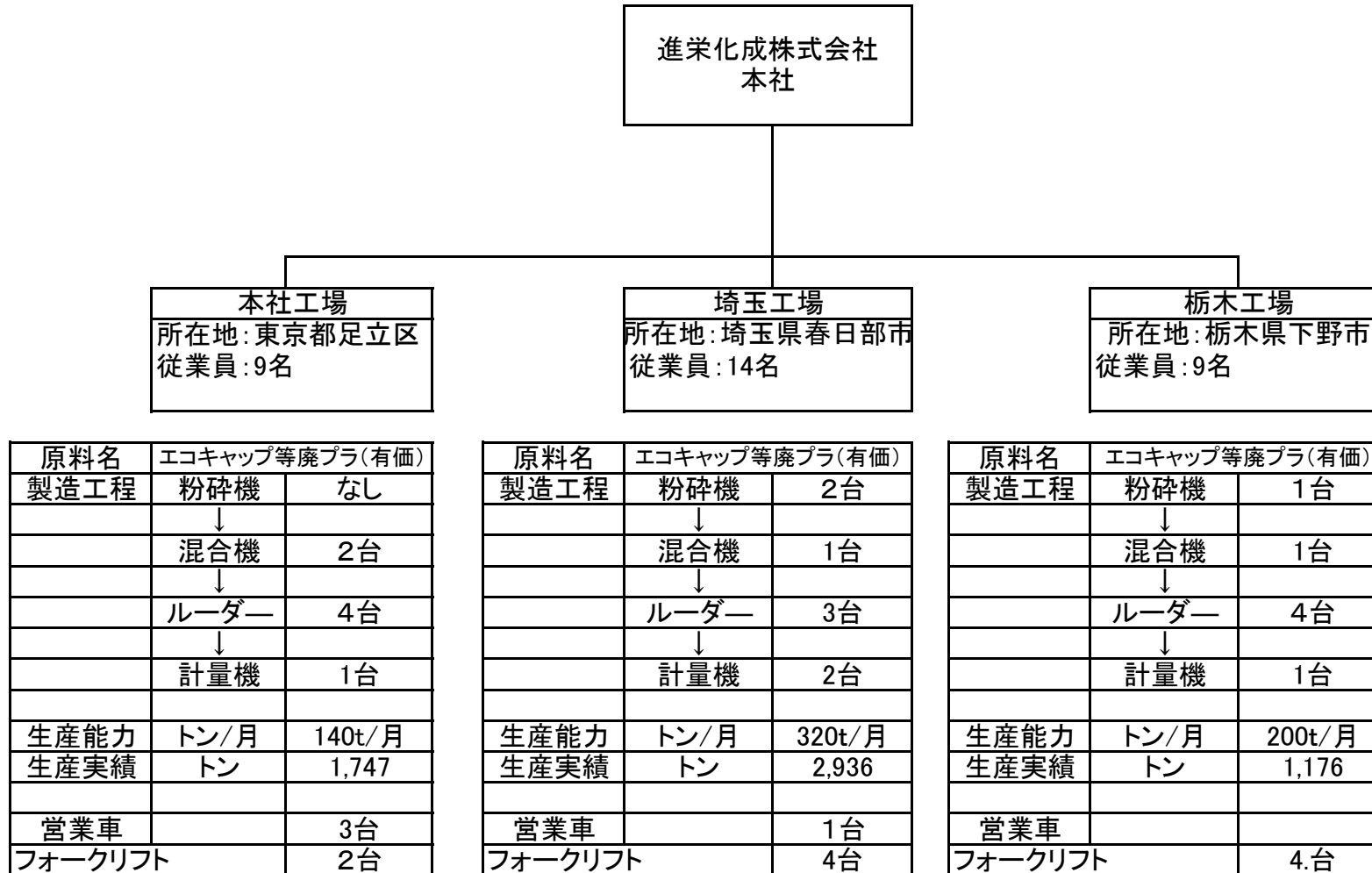


## エコアクション21 実施体制 栃木工場 (総員:9人)



代表者 (承認)	環境管理 責任者 (作成)
進藤	進藤
'25.11.1	'25.11.1

## 進栄化成株式会社 事業所概要及び施設等の状況



※生産実績は2024年11月～2025年10月です。

# 環境経営方針

## 基本理念

当社は、「限りある資源を繰り返し利用しよう」をモットーにプラスチックの材料リサイクルに取り組んできました。今後も「循環型社会」の構築に向けてさらなる努力を続けると共に、環境負荷の低減に努め、環境関連放棄を遵守し、地域社会に貢献していきます。

## 行動指針

- 1 プラスチックリサイクル製品製造の事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組めます。
- 2 プラスチックリサイクル製品製造の事業活動を通じて、廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組めます。
- 3 プラスチックリサイクル製品製造の事業活動を通じて、総排水量（水の総使用量）の抑制、削減に取り組めます。
- 4 プラスチックリサイクル製品の増産化を図ります。
- 5 従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組めます。

令和3（2021）年9月1日制定

進栄化成株式会社

代表取締役 進藤 浩

## ■環境経営目標とその実績

[2025年度: 2024年11月～2025年10月]

サイト名: 本社工場

		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2026年度
環境経営目標			基準年比98%	基準年比96%	基準年比94%		
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (KWh)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値 基準年比90%
		507,977	497,817	487,658	477,498	<b>462,186</b> 91%	457,179
	自動車燃料の削減 (ガソリン L)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値 基準年比90%
		7,661	7,508	7,355	7,201	<b>5,128</b> 67%	6,895
	自動車燃料の削減 (軽油 L)	基準年値	目標値	目標値	目標	目標 実績把握	実績値
					1,113	1,100	
合計 (kg-CO2)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値 基準年比90%	
	334,751	328,056	321,361	314,666	<b>303,172</b> (91%)	301,276	
廃棄物削減排出	産業廃棄物 (廃プラ) の削減 (kg)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値 基準年比94%
		16,210	15,886	15,562	15,237	<b>18,780</b> (116%)	15,237
排水量削減	水道水の削減 (m <sup>3</sup> )	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値
		984	964	2985	925%	<b>2,905</b> 295%	2,800
リサイクル製品	再生原料の増産 (t)	基準年値	基準年比102%	基準年比104%	基準年比106%	実績値 基準年比	目標値
		1,330	1,357	1,302	1,410	<b>1,176</b> 88%	1,200

※購入電力のCO2排出係数は、平成28年北陸電力の0.624kg-CO2を使用しました。(2019年)

## ■環境経営目標とその実績

[2025年度: 2024年11月～2025年10月]

サイト名: 埼玉工場

		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2026年度
環境経営目標			基準年比98%	基準年比96%	基準年比94%		
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (KWh)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値 基準年比88%
		1,153,646	1,130,573	1,117,500	1,084,427	<b>1,022,997</b> 89%	1,015,208
	自動車燃料の削減 (ガソリンL)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値 基準年比94%
		9,260	9,075	8,890	8,706	<b>9,260</b> 100%	8,706
	自動車燃料の削減 (軽油 L)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値	目標値
合計 (kg-CO2)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値 基準年比88%	
		741,358	726,531	711,704	696,977	<b>659,833</b> (89%)	652,395
廃棄物削減排出	産業廃棄物 (廃プラ)の削減 (kg)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値 基準年比98%
		8,510	8,340	8,170	7,999	<b>8,210</b> (96%)	8,340
排水量削減	水道水の削減 (m <sup>3</sup> )	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値 基準年比98%
		247	241	237	232	<b>254</b> 103%	241
リサイクル	再生原料の増産 (t)	基準年値	基準年比102%	基準年比104%	基準年比106%	実績値 基準年比	目標値
		3,197	3,261	3,325	3,389	<b>2,936</b> 92%	3,000

※購入電力のCO2排出係数は、平成28年北陸電力の0.624kg-CO2を使用しました。(2019年)

## ■環境経営目標とその実績

[2025年度:2024年11月～2025年10月]

サイト名: 栃木工場

		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2026年度
環境経営目標			基準年比98%	基準年比96%	基準年比94%		
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (KWh)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値 基準年比98%
		965,553	946,242	926,931	907,620	<b>1,002,473</b> 104%	946,242
	自動車燃料の削減 (ガソリンL)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値 基準年比98%
		5,840	5,723	5,606	5,490	<b>6,040</b> 103%	5,723
	自動車燃料の削減 (軽油L)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値	目標値
斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	
合計 (kg-CO2)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値 基準年比98%	
	616,053	603,732	591,411	579,090	<b>639,602</b> 104%	603,732	
廃棄物削減排出	産業廃棄物 (廃プラ)の削減 (kg)	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値 基準年比70%
		15,700	15386	15,072	14758%	<b>11,220</b> 71%	10,990
排水量削減	水道水の削減 (m <sup>3</sup> )	基準年値	目標値	目標値	目標値	実績値 基準年比	目標値
		238	233	229	224	<b>427</b> 179%	420
リサイクル製品	再生原料の増産 (t)	基準年値	基準年比102%	基準年比104%	基準年比106%	実績値 基準年比	目標値
		2,103	2,145	2,187	2229	<b>1,747</b> 83%	1,800

※購入電力のCO2排出係数は、平成28年北陸電力の0.624kg-CO2を使用しました。(2019年)

## ■ 主要な環境経営計画の内容(本社工場)

◎目標達成      ○改善されてきている      △現状維持      ×悪化している

環境経営目標		環境経営計画の内容	判定
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	必要でない機械類の電源を止める。	△
		必要でない照明電源を消す。	◎
		エアコンの設定温度を夏28度、冬20度を目安とする	◎
	燃料使用量の削減	各車両の燃費の月別測定・監視	△
エコドライブの徹底		◎	
廃棄物排出量削減	産業廃棄物(廃プラ)の削減	分別の徹底により再資源化物を増やす。	△
排水量削減	水道水の削減	水を使用する場合は、こまめに蛇口を開閉するなど節水に心がける。	△
リサイクル製品	再生原料の増産	機械1台毎の生産量を記録する	◎
		新規顧客を開拓する	△

## ■ 環境経営計画の取組結果の評価、次年度の取組内容

	評価・次年度の取組内容
購入電力	使用していない機械に電源を入れていたり、削減への意識が低下しているので再度削減への意識づけをする
ガソリン	・アイドリングストップは浸透してきた実感がある。 ・今後も継続して行っていきたい
産業廃棄物	受け入れる資源物(キャップ、コンタクトケース)が増えることによって段ボール、袋の廃棄が増加している。そこは防げないのでその他の部分で努力する
上水	冷却器(チラー)を導入したが機能せず、結局水道水での冷却をおこなっている。チラーの見直しを早急に行う必要がある
リサイクル	数量も減少しているので営業の努力が必要

## ■主要な環境経営計画の内容(埼玉工場)

◎目標達成

○改善されてきている

△現状維持

×悪化している

	環境経営目標	環境経営計画の内容	判定
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	必要でない機械類の電源を止める。	◎
		必要でない照明電源を消す。	○
		エアコンの設定温度を夏28度、冬20度を目安とする	△
	燃料使用量の削減	各車両の燃費の月別測定・監視	△
		エコドライブの徹底	△
廃棄物排出量削減	産業廃棄物(廃プラ)の削減	分別の徹底により再資源化物を増やす。	◎
排水量削減	水道水の削減	水を使用する場合は、こまめに蛇口を開閉するなど節水に心がける。	○
リサイクル製品	再生原料の増産	機械1台毎の生産量を記録する	◎
		新規顧客を開拓する	△

## ■環境経営計画の取組結果の評価、次年度の取組内容

	評価・次年度の取組内容
購入電力	生産量の減少に伴い減少したが効率のいい運用ができています
ガソリン	・アイドリングストップは浸透してきた実感がある。 ・今後も継続して行っていきたい
産業廃棄物	目標達成できているので次年度も継続して取り組むこと
上水	目標は未達だが、そこまで増加しているわけではないのでこのまま継続する
リサイクル	数量も減少しているので営業の努力が必要

## ■ 主要な環境経営計画の内容(栃木工場)

◎目標達成      ○改善されてきている      △現状維持      ×悪化している

	環境経営目標	環境経営計画の内容	判定
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	必要でない機械類の電源を止める。	○
		必要でない照明電源を消す。	△
		エアコンの設定温度を夏28度、冬20度を目安とする	○
	燃料使用量の削減	各車両の燃費の月別測定・監視	△
		エコドライブの徹底	△
廃棄物排出量削減	産業廃棄物(廃プラ)の削減	分別の徹底により再資源化物を増やす。	◎
排水量削減	水道水の削減	水を使用する場合は、こまめに蛇口を開閉するなど節水に心がける。	△
リサイクル製品	再生原料の増産	機械1台毎の生産量を記録する	◎
		新規顧客を開拓する	△

## ■ 環境経営計画の取組結果の評価、次年度の取組内容

	評価・次年度の取組内容
購入電力	生産量が少なかったので使用量も少なかった。次年度は生産量が増えても一定割合にとどめるよう努力すること
ガソリン	・アイドリングストップは浸透してきた実感がある。 ・今後も継続して行っていきたい
産業廃棄物	目標達成できているので、次年度も継続して取り組むこと
上水	新規設備(洗浄脱水機)を導入したので使用量の増加は折込済み。次年度の動きを注視する
リサイクル	営業の努力が必要ではあるが、他工場とのバランスを考えて生産計画を考える必要がある

## ■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の遵守しなければならない環境関連法規として「廃棄物処理法」などがあります。

これらの法律の順守状況を定期的にチェックしました結果、法規制違反が無いことを確認しました。

なお、関係当局より違反などの指摘はありません。

## ■代表者による全体評価と見直しの結果

本社工場の冷却設備(チラー)の設置効果が見られなかったのは想定外だった。

生産量の増加については、案件は多いものの結果につながっていない。会社の利益に直結することなので最優先で取り組む